

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区： 町北・高野地区	開催日： 令和8年5月11日(月)	開催時間： 18:00 ~ 19:40
担当班： 第2班	出席議員： 横山 淳、平田 久美、長谷川 純一、高梨 浩、長郷 潤一郎	
開催場所： 北公民館 1階会議室1・2		
参加人数： 男性12名、 女性1名、 合計13名 (他自治体等傍聴者2名)		
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など 1. 意見交換の総括 (1) 議会報告、市政全般についての総括 ① 2月定例会議について 4月より開始されたごみ袋の有料化に伴う「不適正排出ごみ抑制のための町内会への支援」について、町内会における課題が報告された。 ② 市政全般(市のまちづくりに向けた課題)について 特になし。 (2) 地区別テーマについての総括 ① 地区別テーマ 「魅力的な北地区づくり」のための地区住民の連携・協働の在り方 ② テーマ設定の理由、背景 北地区地域づくりビジョンが改定時期になることや、更なる地域の賑わいづくりのために地区運動会の再開などを模索していることから、北地区におけるまちづくりの現状と課題について把握し、地域課題解決につなげるためテーマに設定した。 ③ 主な地域課題 地域の各種団体の役員を担う人材がおらず、これまで各種団体が行っていた地域における活動が縮小・停滞している。 【その他の主な意見等】 若い世代への市や市議会の情報発信について、SNSなどの媒体を通した積極的な対応が求められた。		

会津若松市議会議長 様

令和8年5月21日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎

意見交換会第2班 代表者 横山 淳

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
不適正排出ごみ抑制のための町内会への支援が6月からというのは遅いのではないかな。 ごみ袋の有料化も6月からにすれば良かったのではないかな。	ごみ袋の有料化に伴う地区での問題点として把握し、議会の中で情報共有を行う。 (参考:市の見解)不適正排出ごみ抑制のための町内会への支援については、令和7年度に実施した区長会との意見交換会や出前講座でいただいた意見を踏まえて、一時的な支援策が必要と判断し、事業構築を行ったため、令和7年度中の対応ではなく、令和8年度からの事業実施となった。	○	①		環境
不適正排出ごみが結構ある。交通量のある道路沿いのごみステーションを管理する人が、ごみステーションの場所を変更できないか市と協議している。 不適正排出ごみの対策は4月のごみ袋の有料化と同時に実施すべきであった。		○	①		環境

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「魅力的な北地区づくり」のための地区住民の連携・協働の在り方

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
	令和7年11月の意見交換会においても、北地区まちづくり協議会の実態などを議会として把握している。地域づくりビジョンが改定時期になることや、更なる地域の賑わいづくりのために地区運動会の再開などを模索していると聞き及んだことから、北地区におけるまちづくりの現状と課題について教えていただきたい。				
日本赤十字社の役員選出の関係で、何年か後に分団長の選出の順番が地区へ回ってくることから、脱退したいというような話が出ている。現在はこの話を保留にしているが、ほかの地区ではこのような事例があるのか。	他地区においても同じような話がある。 担い手が少ない中での選出となるが、国との関係もあることから市レベルで団体を無くすことは難しい。 その団体の日常的な活動が見えにくくなっていることも地区における団体存続や役員辞退の要因となっているのではないか。	○	①		地域社会
令和8年の民生委員の改選において成り手がいないことから、区長として責任を取って自分になることにした。民生委員のお世話にならなくてはいけないくらいの歳なのに、この組織の在り方はこれで良いのかと疑問に思う。		○	①		地域社会
ひとつの集落で団体を抜けるとなると、ほかの集落もその団体を抜けることにつながっていく。何のためにその団体があるのかが若い人たちなどに理解されていない。70歳代以上の人が担っている。		○	①		地域社会
コロナ禍以降、様々な団体の活動が中止や縮小・廃止によって、その団体の活動や存在意義が見えにくくなってきていることから、団体がなくてもいいと思われるのではないか。 北地区が平穏無事で住みやすい地区だということが原因ではないか。	今まである地域の様々な団体の存続が危うくなっている現状は北地区に限ったことではない。 北地区で、ある団体の担い手がいない場合でも、その団体が行っていた活動が地区として必要であれば対応できる手段を考えなければならない。				
		○	①		地域社会

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「魅力的な北地区づくり」のための地区住民の連携・協働の在り方

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
コロナ禍以降、6年間地区運動会を開催していない。今年では地区運動会を再開することで動き出しているが、6年間もやっていないので参加者がいないのではないかと声もある。 小・中学校に再開のご挨拶と協力をお願いを行う予定。参加者がどうなるかは分からないが、開催してみても、その実態に応じ今後どうしていくのか考える。	鶴城地区の例では、3年前の意見交換会時に同じような話があり、区長会から協力金を拠出し、運動会の運営経費に当てていることや、子ども会主催の花火大会の再開に向けて区長会も一緒に行動し再開にこぎつけたという例がある。 一団体だけで対応できない活動を、地域として可能な範囲で協働していく実例である。	○	①		地域社会
若い世代も子どもも何人もいない、高齢化になっていることから、うちの町内は運動会に参加しないことになった。		○	①		地域社会
6年間開催していない実態があつて、体育連盟の存在意義がなくなっていることから、規模を縮小して再開し、参加地区の数などによって今後どうするか判断する材料にしたい。		○	①		地域社会
地域づくり協議会としても、個人的にも全面協力したいと思っている。		○	①		地域社会
自分の地区も高齢者ばかりで、運動会に出るかは不安がある。しかし、再開してみても、何回か回を重ねることも必要だ。		○	①		地域社会
区長会と体育連盟会長とで運動会再開に向けて何回か打ち合わせを行った。再開することに皆で全面バックアップしないといけない。		○	①		地域社会

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「魅力的な北地区づくり」のための地区住民の連携・協働の在り方

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
こういう場があること自体、若い世代に届いていないことがまず問題だ。 私たちの世代は皆、市のホームページが何であんなに見にくいのかと言っている。議会だよりもアパートの子たちは見ない。地域の活性化もそこからかなと思う。	ご意見として伺う。	○	②		地域社会
ここに住んでいる人たちだけで地域を作ろうと思っても難しい。 全国で有名な地域づくりの講演会を2回聞いたが、元気あふれるパワーのある人が地域づくりをされていてすごいと感じた。	北地区においては、今後も積極的な地域づくりを地区の方々、市、議会とつながりを持ちながら進めていきたい。 議会としては、集落支援員の方とも連絡を密にしながら今後も関係を保っていきたい。	○	①		地域社会